



フランシスコ・ザビエル

～キリスト教の伝来・ヨーロッパとの交流～

くみ なまえ

学習課題

「キリスト教はどのように日本に広まっていったのだろうか。」

この動画を見てみよう。▶ **フランシスコ・ザビエル** ～キリスト教の伝来・ヨーロッパとの交流～



🔍 歴史にドキリ URL <https://www.nhk.or.jp/school/syakai/dokiri/>

1 ザビエルはどのようにキリスト教を広めようとしたのか分かったことをメモしよう。

2 ザビエルが中国に渡った後、日本ではキリスト教やヨーロッパの文化がどのように広まったでしょう。また、当時の日本人がどのようにキリスト教やヨーロッパの文化を受け入れたかについて考え、自分の考えをまとめましょう。

3 学習課題についてまとめよう。



学習にかかった時間	おうちの人のサイン
分	☆☆☆☆☆



フランシスコ・ザビエル

～キリスト教の伝来・ヨーロッパとの交流～

くみ なまえ

学習課題

「キリスト教はどのように日本に広まっていったのだろうか。」

この動画を見てみよう。▶ **フランシスコ・ザビエル** ～キリスト教の伝来・ヨーロッパとの交流～



🔍 歴史にドキリ URL <https://www.nhk.or.jp/school/syakai/dokiri/>

1 ザビエルはどのようにキリスト教を広めようとしたのか分かったことをメモしよう。

(ヨーロッパの当時の状況)

- ・国を挙げてキリスト教を広めることに熱心であった。
- ・イエズス会などの団体が宣教師をアジアなどの各地に派遣していた。

(ザビエルの動き)

- ・スペインの貴族の家に生まれたザビエルはキリスト教を広める宣教師になった。
- ・最初にスペインからインドに行き、キリスト教を広めた。
- ・マレーシアで日本人のアンジローに会い、日本でキリスト教を広めようと思った。
- ・最初に鹿児島に上陸した。その後、京都、山口へ行き、有力な大名であった大内義隆にキリスト教を広める許可をもらった。
- ・その後、中国へわたりキリスト教を広めた。

2 ザビエルが中国に渡った後、日本ではキリスト教やヨーロッパの文化がどのように広まったでしょう。また、当時の日本人がどのようにキリスト教やヨーロッパの文化を受け入れたかについて考え、自分の考えをまとめましょう。

(キリスト教やヨーロッパの文化がどのように広まったか)

- ・当時の日本は戦乱の世の中で、天皇よりも力をもつ大名たちがあらわれた。
- ・織田信長は京都に南蛮寺と言われる教会を造ることを許可し、キリスト教を広めることを認めた。
- ・大友宗麟などのキリシタン大名などもあらわれた。
- ・カステラ・ポタンなど今でもその名前が残るものが日本に初めて入って来た。

(当時の日本人はどのように受け入れたのだろうか)

- ・宣教師の熱心な布教によりキリスト教を信じる日本人が増えていったが、全国的に見ればまだまだ、少ない数であった。
- ・ヨーロッパの進んだ文化に関心を示し、多くのものを取り入れた。

3 学習課題についてまとめよう。

ザビエルが日本にキリスト教を伝え、その後、大名などにもキリスト教が広まった。また、ヨーロッパの進んだ文化が日本に入ってきた。



学習にかかった時間

うちの人のサイン

分

